



### 3. 活動内容

#### (1) 前林中学校ESD M-project 実行委員会 活動内容の報告

##### ① M-project 1年生「地域とかかわる～あしたをつかめ～」

2年生で行う職場体験活動を見据えて、「職場訪問」という形をとることで様々な分野への関心を広げた。まず「職」について調べ、考え、発表を通して興味・関心を高め、追究課題を個々の生徒は立てた。それをもとに前林中学校ESD M-project 実行委員会（以下「実行委員会」）は、84の訪問先を設定した。

興味・関心から疑問が生まれ、訪問先で職場の生の声を聴くことで、自分の将来について考える機会となった。また、訪問することで地域とかかわり、地域に対する関心を高めることに繋がった。そして、多くの人が様々な役割を果たすことで、地域は支えられ機能していることを知った。



職場訪問発表会



【一職場訪問一 MAGA ドン・ホテ豊田本店 えびせんべいの里刈谷店 スターバックスキャラリアピタ店】

##### ② M-project 2年生「ともに生きる」

実行委員会は、114の事業所の協力を取り付け、2年生生徒に職場体験活動を通して、社会の一員として必要な資質や能力を学ぶとともに、自分の将来について考える機会を設定した。



【一職場体験一 hair&facial お菓子の家フレーベル タイヤガーデン知立】



【一職場体験一 駒場こども園 産地直送おあしすファーム 豊田厚生病院】

### ③ M-project 3年生「みちをひらく」

地域社会に生きる自分たちの生活をより改善しようと、生徒が主体的に活動できるように、実行委員会は、生徒が活動できる場を6つ設定した。

【①入学説明会②小中連携（外国語活動）③高齢者福祉施設訪問④こども園⑤エチオピア・カンボジア支援活動（交流館での展示・募金活動）⑥熊本被災地支援募金活動】

エチオピア・カンボジア支援活動（交流館での展示・募金活動）では、実行委員会が、認定NPO法人ホープ・インターナショナル開発機構を通して取り寄せた資料から、特にエチオピアとカンボジアの現状を学んだ。

その学びを地域に情報発信するために、交流館にポスターや新聞を作って展示したり、ハイウェイオアシス刈谷にて募金活動をしたり、生徒たちは意欲的に取り組んだ。



【新1年生の校内見学案内係】



【小学校での外国語活動授業交流】



【高齢者福祉施設訪問】



【こども園での交流活動】



【エチオピア・カンボジア支援活動（交流館での展示・募金活動）】



【熊本被災地支援募金活動】

④ M-projectの発展的自主活動

ア 前林交流館「ふれあいまつり」ボランティア活動

実行委員会は、前林交流館と交渉し、ボランティアに主体的に取り組む生徒の機会を設定した。



イ 避難所給食体験活動

実行委員会は、在校生727名と教員・保護者500名分の非常食の提供に取り組んだ。(約1200名分)



【避難所運営演習 本部表示】



【避難所運営演習 実行委員会作業打合】



【避難所運営演習 1200食分の豚汁】

ウ 環境のための地球規模の学習及び観測プログラム(グローブ)推進事業  
実行委員会は、気象観測機器を整備したり、水質検査や水生生物の観察のため、矢作川研究所の協力を要請したりした。

また、平成23年度に省エネ推進活動の一環として、緑のカーテンと雨水タンクを設置した。緑のカーテンは、平成27年度・28年度、2年連続、学校部門優秀賞をいただいた。



【緑のカーテン(ゴーヤと小玉スイカ)と生徒の収穫の様子】

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ 科学部 ）